

2019年11月22日  
住友生命保険相互会社

## 2019年度上半期末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューについて

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー（以下「E E V」）原則に基づき計算した住友生命グループ（住友生命、メディケア生命保険株式会社（以下「メディケア生命」）および Symetra Financial Corporation（以下「シメトラ」））の2019年度上半期末のE E Vをお知らせいたします。

## 1. 住友生命グループのEEV

(億円)

	2018年度末	2019年度 上半期末	増減
EEV	36,990	36,867	▲ 122
修正純資産	41,565	45,372	3,806
保有契約価値	▲ 4,575	▲ 8,504	▲ 3,929

	2018年度 上半期	2019年度 上半期	増減	2018年度 年間
新契約価値	877	647	▲ 229	1,677

- (※1) 住友生命グループのEEVは、住友生命のEEVにメディケア生命およびシメトラのEEVを加え、住友生命が保有するメディケア生命およびシメトラの株式の簿価を控除することにより算出しております。
- (※2) 住友生命が保有するメディケア生命の株式の簿価は、2018年度末時点および2019年度上半期末時点で800億円、シメトラの株式の簿価は2018年度末および2019年度上半期末時点で4665億円です。
- (※3) 2018年度末および2019年度上半期末のグループEEVには、住友生命グループの連結財務諸表におけるシメトラの決算基準日である2018年12月末および2019年6月末のシメトラのEEVを含めております。
- (※4) 2018年度上半期の住友生命グループの新契約価値には、2018年1月1日から2018年6月30日までのシメトラの新契約価値を、2018年度の住友生命グループの新契約価値には、2018年1月1日から2018年12月31日までのシメトラの新契約価値を、それぞれ含めております。また、2019年度上半期の住友生命グループの新契約価値には、2019年1月1日から2019年6月30日までのシメトラの新契約価値を含めております。

### (参考1)

住友生命では、契約期間が長期にわたる生命保険契約の負債特性に応じて資産を管理するALM（資産負債の総合的管理）推進の観点から、長期の公社債や貸付金などの円金利資産を中心に投資を行っております。

金利が低下した場合、将来見込まれる運用収益が減少することに伴い、保有契約価値は減少します。一方で、債券価格が上昇し、資産の含み損益が増加することにより、修正純資産は増加し、保有契約価値の減少を補います。

保有契約が将来生み出す収益を把握するにあたっては、保有契約価値に加えて、資産の含み損益を合わせて見る必要があります。

住友生命グループのEEV総額を「純資産の部合計＋負債中の内部留保等」、「保有契約価値＋円金利資産等の含み損益」および「円金利資産等以外の含み損益等」に組み替えて表示すると、次のとおりとなります。

(億円)

	2018年度末	2019年度 上半期末	増減
EEV	36,990	36,867	▲ 122
純資産の部合計 ＋負債中の内部留保等(※1)	12,513	12,743	230
保有契約価値 ＋円金利資産等の含み損益(※2)	15,859	15,815	▲ 44
円金利資産等以外の含み損益等(※3)	8,617	8,308	▲ 309

- (※1) 住友生命グループの修正純資産のうち、純資産の部合計・負債中の内部留保（税引後）・メディケア生命に対する出資額の相殺・シメトラの繰延税金資産等に係る調整およびシメトラに対する出資額の相殺の合計額を計上しております。
- (※2) 住友生命グループの保有契約価値と、住友生命およびメディケア生命における円金利資産等の含み損益（税引後）の合計額を計上しております。円金利資産等とは、円貨建保険等に対応する、円貨建公社債・一般貸付、為替ヘッジ付外債等の円貨ベースでの元本回収の確実性が高い資産、および、外貨建保険に対応する、負債と同一通貨建の外貨建公社債等の外貨ベースでの元本回収の確実性が高い資産です。
- (※3) 住友生命グループの修正純資産のうち、住友生命およびメディケア生命における円金利資産等を除いた有価証券等および貸付金・不動産・負債の含み損益（税引後）、退職給付の未積立債務（税引後）の合計額を計上しております。

(参考2)

市場整合的手法による新契約価値は、リスク中立評価を前提としたものであり、資産運用に係る超過収益は市場参加者が運用リスクに対して要求する引当と相殺され、結果としてすべての資産の将来の運用収益がリスク・フリー・レートと等しいものとする前提としております。

一方で、実際の資産運用にあたっては、日本国債に加えて社債、外国債券、株式等への投資を行い、リスク・フリー・レートを超過する利回りを獲得することを期待しております。保険期間の経過に従い、超過収益が獲得された場合には、E Vの増加に寄与します。

住友生命グループの新契約価値における将来の運用収益前提のうち、住友生命分について、リスク・フリー・レート対比の超過収益を反映して再計算した場合の新契約価値（参考値）は次のとおりです。なお、計算にあたっては、割引率について、運用収益と同じ水準としており、超過収益が実現しないリスクを反映しております。

この値は、住友生命のE E Vおよび新契約価値算出に使用したリスク中立評価とは異なる基準によるものです。また、E E Vの内訳項目としての新契約価値に相当するものでもありません。

(億円)

	2019年度 上半期
超過収益を考慮した 新契約価値(参考値)	925

- (※) 住友生命の将来の超過収益については、2019年度の期待収益率（リスク・フリー・レート分と超過収益分の合計）が1.4%であることを踏まえ、1.2%と設定しております。

## 2. 各社別のEEV

### a. 住友生命

	2018年度末	2019年度 上半期末	増減	
EEV	38,820	38,662	▲ 157	
修正純資産	44,413	48,224	3,811	
保有契約価値	▲ 5,592	▲ 9,561	▲ 3,969	
	2018年度 上半期	2019年度 上半期	増減	2018年度 年間
新契約価値	879	622	▲ 256	1,657

### b. メディケア生命

	2018年度末	2019年度 上半期末	増減	
EEV	1,369	1,335	▲ 34	
修正純資産	428	416	▲ 11	
保有契約価値	941	918	▲ 22	
	2018年度 上半期	2019年度 上半期	増減	2018年度 年間
新契約価値	32	27	▲ 4	73

### c. シメトラ

	2018年12月末	2019年6月末	増減	
EEV	2,264	2,334	69	
修正純資産	2,189	2,196	6	
保有契約価値	75	138	62	
	2018年1月から 2018年6月まで	2019年1月から 2019年6月まで	増減	2018年1月から 2018年12月まで
新契約価値	▲ 34	▲ 2	32	▲ 53

(※) シメトラのEEVおよび新契約価値は、現地通貨で計算した上で、日本円に換算しております。換算に用いた米ドルの為替レートは、2018年12月末EEVおよび2018年1月から2018年12月までの新契約価値については111.00円、2019年6月末EEVおよび2019年1月から2019年6月までの新契約価値については107.79円、2018年1月から2018年6月までの新契約価値については110.54円です。

(参考) 米ドルベース

(百万米ドル)

	2018年12月末	2019年6月末	増減	
EEV	2,040	2,165	125	
修正純資産	1,972	2,037	64	
保有契約価値	67	128	60	
	2018年1月から 2018年6月まで	2019年1月から 2019年6月まで	増減	2018年1月から 2018年12月まで
新契約価値	▲ 31	▲ 2	29	▲ 48

### 3. 住友生命グループのEEVの前年度末からの変動要因

(億円)

	EEV
2018年度末EEV	36,990
(1) 2018年度末EEVの調整 <sup>(※)</sup>	▲ 65
2018年度末EEV(調整後)	36,925
(2) 2019年度上半期新契約価値	647
(3) 期待収益(市場整合的手法)	1,689
うちリスク・フリー・レート分	71
うち超過収益分	1,618
(4) 期待収益(トップダウン手法)	87
(5) 前提条件(非経済前提)と実績の差異	▲ 212
(6) 前提条件(非経済前提)の変更	▲ 569
(7) 前提条件(経済前提)と実績の差異	▲ 1,700
2019年度上半期末EEV	36,867

(※) シメトラのEEVを円換算する際に用いる為替レートの変動に伴う影響を反映しております。

### 4. 第三者機関によるレビューについて

2019年度上半期末EEVの計算にあたっては、EEVの評価について専門的な知識を有する第三者機関において、計算方法および計算前提がEEV原則に準拠したものである旨の検証がなされております。

以上